



5月24日 高森高原風力発電所竣工式



5月5日 ごしの縄文パーティー



5月19日 一戸中学校体育祭



6月9日～10日 春の産業まつり



6月5日 いちのへPR大使委嘱状交付式

6月定例会

旧塵芥処理場煙突解体に着手

2

町の未来を問う 一般質問4氏が登壇

6

常任委員会視察報告

11

いちのへ
議会だより No.204
平成30年7月27日発行

発行責任者／一戸町議会議長
編集／一戸町議会広報広聴常任委員会

〒028-5311 岩手県一戸郡一戸町高善寺字大川鉢24-9
TEL (0195) 33-2111 FAX (0195) 33-4070
E-mail gikaie@town.ichinohe.iwate.jp



どうなった？あの請願

産業建設常任委員会と地域整備課との意見交換会



進捗状況について意見交換を行いました

6月28日、過去に採択された請願についての進捗状況を確認するため、産業建設常任委員と地域整備課との意見交換会を行いました。

地域整備課より、採択された案件の現状と課題について説明を受け、意見交換を行いました。

平成24年6月議会で採択された「町道関屋線改良舗装並びに町道関屋西線（関屋踏切）拡幅改良の早期整備促進に関する請願」について、工事はIGRが行い、町が費用を負担することとなっています。先日、関屋踏切の大型車の通行について、IGRと現地調査を行い一部施設移転の見積もりを依頼したとのことでした。見積書受領後に、IGRと協議する予定となっています。

また、他の案件についても、順次整備に取り組みとの回答をいただきました。

議会だよりクイズ

ごしょどん をさがせ！

議会だよりの中にある「ごしょどん」はいくつかな？（イラストのほかに写真の中にもいるよ。）

正解者の中から抽選で2人に「いちのへ商品券」1,000円分をプレゼントします。

【応募方法】

ハガキに答え、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、右記まで応募してください。また、議会だよりに対するご意見、ご感想などがありましたらあわせてご記入ください。

【応募先】

〒028-5311

- 一戸町高善寺字大川鉢 24-9
- 一戸町議会事務局 クイズ係

【締め切り】 8月31日（金）消印有効

【当選者発表】

次月号（10月下旬発行予定）で発表します。

【前回の当選者】

- 田村様、山本様です。
- おめでとうございます。



ごしょどん

あとがき

▼4月23日に衆議院第一議員会館で開催された北海道・北東北の縄文遺跡群世界遺産登録推進総決起大会に参加しました。また、先日、世界文化遺産の候補として、国内推薦も決定し、世界遺産登録に向けて一歩前進しました。

▼各常任委員会の所管事務調査が行われ、委員会活動も本格的になってきました。

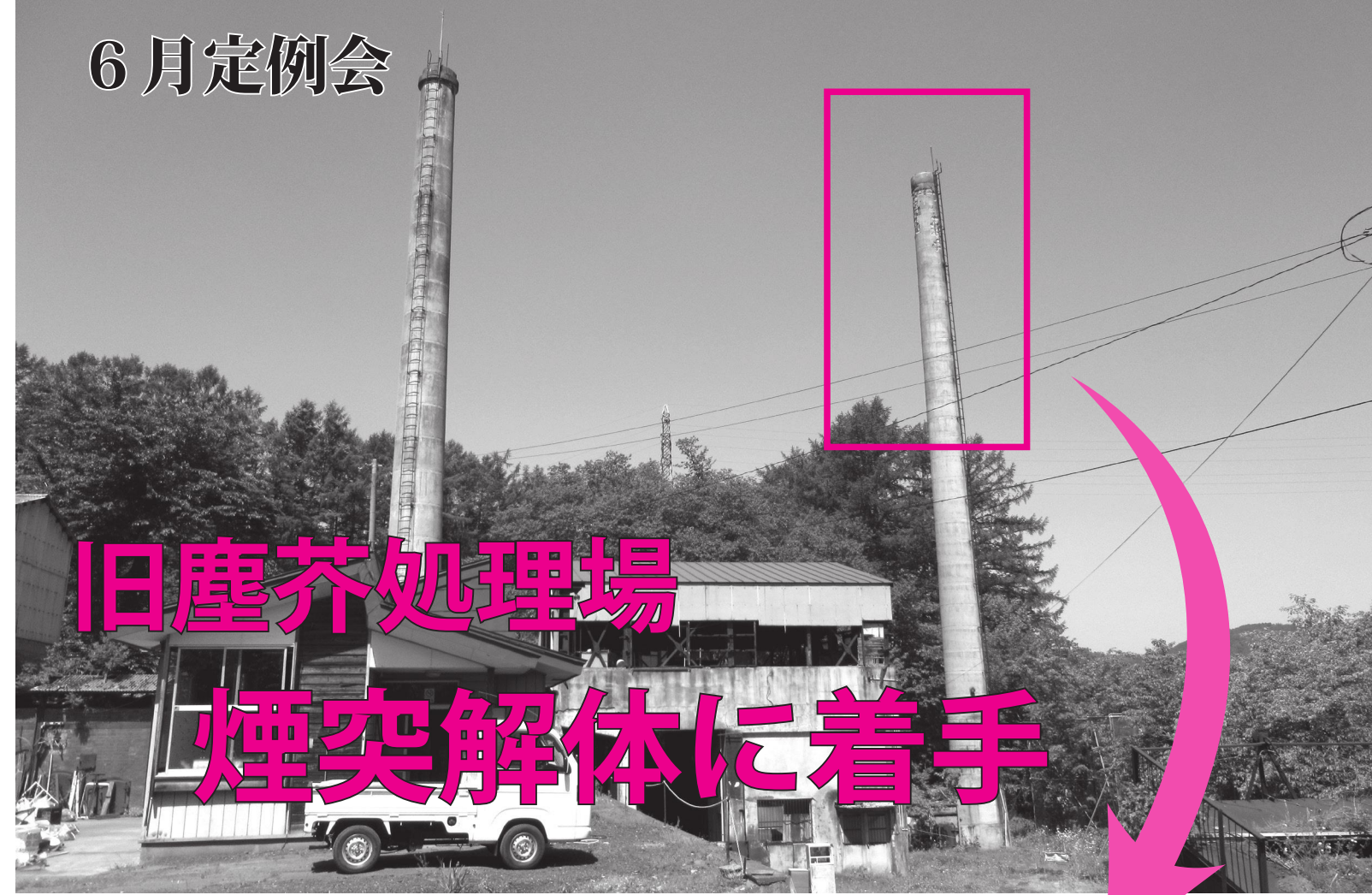
▼7月17日～20日まで管外行政視察が行われました。詳細は次号にて報告します。

▼暑い日が続いており、ますます水分補給をして熱中症には気を付けましょう。

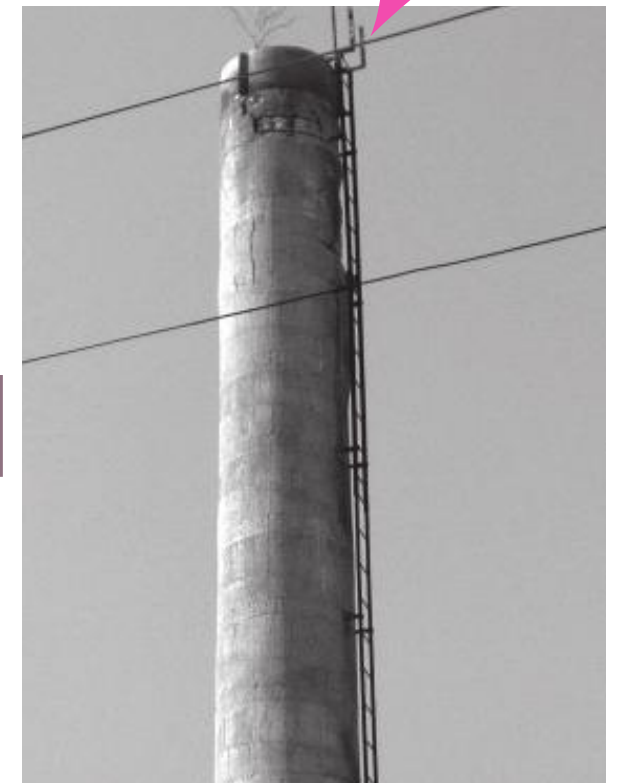
広報広聴常任委員会
委員 田中新吉



6月定例会



旧塵芥処理場 煙突解体に着手



平成 24 年



平成 30 年 5 月

特に町道側の煙突の劣化が激しくなっています



工事契約

◆地域 ICT ネット
ワーク機器等更新工事
契約先

(株)アイシーエス

契約金額

7907万5980円

●質疑応答

問 工事の内容を伺います。

答 通信機器の耐用年数経過に伴う更新工事です。

問 各自治公民館に設置してある機器も更新しますか。

答 更新または撤去を予定しています。撤去した場合は、地域活動などで使う機器を地域から提案してもらい、設置したいと考えています。

●質疑応答

問 県営街路事業に伴う物件移転補償の内容を伺います。

答 今回は IGR 線路東側の、地権者 6 人分を予算措置しました。

問 施工のスケジュールを伺います。

答 施工予定期間は、平成 29 年 2 月から平成 38 年 3 月までで、線路東側↓踏切↓線路西側と進む予定ですが、具体的なスケジュールは県よりまだ示されていません。

◆下水道事業特別会計
補正予算(第1号)

10万8千円増額し、
総額を2億9735万
5千円としたものです。

◆後期高齢者医療特別
会計補正予算(第1号)

19万8千円増額し、
総額を1億4148万
3千円としたものです。

補正予算

◆一般会計補正予算
(第2号)

1億4992万8千
円を増額し、総額を
76億6940万円とし
たものです。
主な事業は下表のと
おりです。

一般会計補正予算(第2号)の主な事業

県営街路事業に伴う物件移転等補償費	8301万円
旧塵芥処理場煙突解体工事設計等委託料	2200万円
観光要素向上事業費補助金	482万円
奥中山地区公民館高压受電設備修繕工事負担金	296万円
鳥海小自動火災報知設備更新工事費	233万円
町内会等除雪機購入費補助金	180万円
コミュニティ助成事業費補助金	170万円
奥中山小校内放送設備更新工事費	131万円
奥中山小屋根雨漏り調査委託料	108万円



県営街路事業が本格化します

平成30年第2回一戸町議会定例会 議決結果一覧

番 号		件 名	山 館 章 子	田 中 新 吉	仁 昌 寺 泰 夫	小 野 寺 美 登	田 頭 健 造	柴 田 正 三	峠 勇 男	上 平 栄 一 郎	山 下 正 勝	駒 木 二 郎	菅 野 敦 子	田 村 繁 幸	中 瀬 春 英	上 山 文 雄	関 連 ペ ー ジ
報 告	第8号	専決処分の承認を求めることについて (一戸町町税条例等の一部を改正する条例の制定につ いて)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—	4
	第9号	専決処分の承認を求めることについて (平成29年度一戸町一般会計補正予算(第7号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	4
	第10号	専決処分の承認を求めることについて (平成29年度一戸町個別生活排水処理事業特別会計補正 予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	4
	第11号	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度一戸町一般会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	4
	第12号	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度一戸町国民健康保険事業勘定特別会計補正 予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	4
議 案	第1号	損害賠償の額を定め和解することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	4
	第2号	工事請負契約の締結について (地域ICTネットワーク機器等更新工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	3
	第3号	物品の購入について (消防ポンプ自動車)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	4
	第4号	物品の購入について (除雪ドーザ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	4
	第5号	一戸町総合計画策定条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	4
請 願 発 議 案	第2号	日本 정부가 すみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批 准することを求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	10
	第1号	日本 정부가 すみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批 准することを求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	10

表の見方：「○」は賛成、「●」は反対、「—」は採決に加わらなかったことを表します。
上山議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

一戸町議会

一戸町議会のページ

議会中継



町ホームページのトップページ右下

議会傍聴・議会中継をご利用ください

9月定例会は9月上旬開会予定です。会期が決定後、一戸町のホームページなどでお知らせいたします。
議会傍聴と町ホームページでの議会中継のライブとオンデマンドをぜひご利用ください。
<http://www.town.ichinohe.iwate.jp/> **議会中継をクリック！**

物品購入

◆消防ポンプ自動車

購入先 (株)岩野商会
購入金額 2197万円

配備先 第2分団3部(西法寺)

●質疑応答

問 普通免許で運転できる車ですか。

答 平成29年3月12日以降に普通免許を取得した方は運転できません。準中型免許が必要となります。

問 準中型免許を取得するための補助は考えていませんか。

答 近隣市町村の状況と、財政状況を見て判断したいと思います。

◆除雪ドーザ

購入先 コマツ岩手(株)二戸営業所
購入金額 1866万2400円

条例制定ほか

◆一戸町総合計画策定条例の制定

一戸町総合計画の策定について必要な事項を定めたものです。

◆損害賠償の額を定め和解することについて

公用車事故について損害賠償の額の協議が整い、和解しようとするものです。

賠償額

253万44円

報告
経営状況報告ほか

◆経営状況報告

(株)一戸夢ファーム
(一社)小鳥谷診療所

◆繰越明許費

一般会計 3億3068万円を繰り越すものです。

下水道会計

750万円を繰り越すものです。

個別生活排水処理会計

1087万9千円を繰り越すものです。

条例改正

◆町税条例等の一部改正

町たばこ税の税率引き上げおよび加熱式たばこの課税方法の見直し、国税の課税限度額の引き上げおよび軽減対象世帯の要件緩和、その他所要の整理をしたものです。

補正予算

専決処分

◆平成29年度一般会計補正予算(第7号)

2802万8千円を増額し、総額を81億9482万8千円としたものです。

◆損害賠償(2件)

損害賠償の額が50万円以下のため、専決処分したものです。

賠償額

50万円
19万4249円

◆平成29年度個別生活排水処理事業特別会計補正予算(第3号)

510万円を減額し総額を5295万4千円としたものです。

◆平成30年度一般会計補正予算(第1号)

平成29年度国民健康保険事業勘定特別会計の決算が歳入不足となることから、同会計が行う繰上充用後の財源不足の一部に対して、地方消費税交付金の社会保障財源分相当額

(6047万2千円)を充てるため、繰出金を増額したものです。

◆平成30年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)

平成29年度国民健康保険事業勘定特別会計の決算が歳入不足となることから、地方自治法施行令第166条の2の規定により、30年度歳入の繰上充用を行ったものです。

繰上充用金

1億1517万3千円



一戸高校農業コース生徒との実習
(一戸夢ファーム)



中瀬 春英 議員

高
齢
者

孤独解消法は

様々な分野で活躍できる場を



地域活動としてたまねぎづくりに取り組んでいます（根反地区）

質問 ひとり暮らしの高齢者が増加しています。何とかして孤独にならないように、町独自の地域コミュニティ整備の考えはないか伺います。

町長 現在、高齢者独居世帯が703世帯、高齢者夫婦または親子世帯が585世帯となつています。こうした状況にあつて、高齢者が地域で孤立せず、外出や交流の機会を創出し、または自らの意欲や能力をいかし、様々な分野で活躍できる場が必要であることは議員と同感です。

質問 当町では正規職員より、非正規職員の方が多くと言われているようですが、その実態と非正規職員の待遇改善について伺います。

町長 6月1日現在で、フルタイムの非正規職員は124人、パートタイムの非正規職員は29人となっており、合計すると正職員126人を上回る人数となります。

非正規職員

待遇改善を 新任用基準整備に向けて準備

行財政改革などにより平成17年から50人以上の正職員が減少していますが、住民サービス維持向上に対応するため、非正規職員を採用してきました。

次に、待遇改善については、平成29年度に保育士、学童指導員、看護師、幼稚園教諭などの改善を行っています。

このほかに「火葬場の移転について」も質問しました。

そのほか、地方公務員法および地方自治法の一部を改正する法律により、平成32年4月1日から会計年度任用職員制度が導入されることとなっています。

町では、会計年度任用職員制度導入に伴い、新しい任用基準の設定などに今年度から着手します。

町では、介護予防教室が現在10地区、ふれあいいきいきサロン事業が19地区まで増加し、徐々に広がりを見せており、本年度、新たに4地区でサロン事業が開始予定となっています。

また、高齢者の働く場としては、シルバー人材センターがあります。

ですので、単なる就労の場として捉えるのではなく、社会貢献活動や生きがいづくりにも繋がるものと考えています。

一般質問

通 告 者

菅 野 敦 子 議員
中 瀬 春 英 議員
峠 勇 男 議員
山 館 章 子 議員

一般質問は、行財政全般にわたり疑問点をただし、町の所信を求めるもので、定例会で行います。質問は、議員と町長が対面し、一つの質問をして一つの回答を得る「一問一答方式」です。



菅 野 敦子 議員

国保広域化

保険税への影響は 県の保険税率を参考に判断

質問 4月から、国民健康保険事業が県と市町村との共同経営になりました。町民が負担する保険税への影響について伺います。

町長 2月から3月にかけて町内4カ所で開催したまちづくり懇談会でも説明しましたが、保険税の税率を決める際には県が示す標準保険税率を参考にします。

その前提となる国民健康保険事業費納付金は、県の国保会計の財政運営のために町の国保会計から負担しなければならぬもので、主な原資は保険税となります。

また、保険税の算定においては、制度として所得基準による軽減措置が設けられており、当町でも約6割の世帯が軽減措置を受けています。

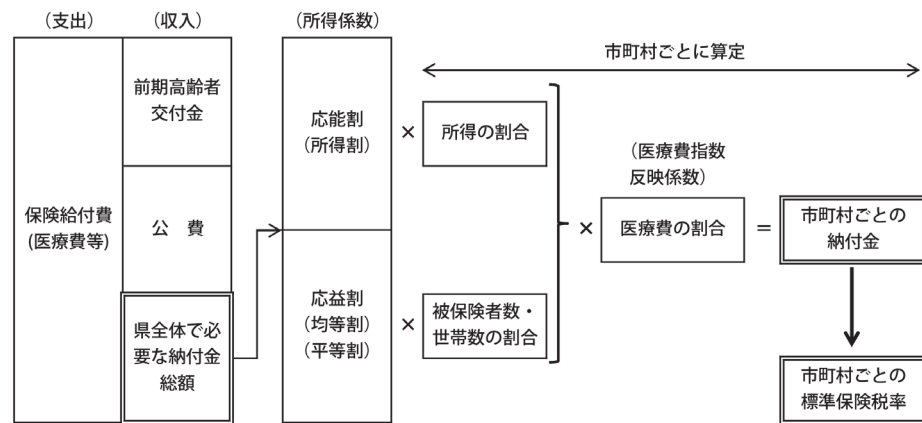
県に国保会計からは、町の保険給付に必要な全額が町の国保会計に交付されるものです。

国民健康保険事業費納付金と標準保険税率の算定にあたっては、県内市町村の中で当町が占める被保険者数および世帯数の割合、所得の割合、医療費の割合、保険税の収納率が反映されます。

成21年度から赤字であり、平成24年度からは繰上充用を行っている状況にあります。これは国保の広域化によって解消されるものではなく、一般会計からの繰入れによる繰上充用によって賄っている赤字は、本来は保険税で解消しなければならぬものです。

そのため、今後は決算状況も踏まえ、町民との懇談の機会を設けて意見を聴き、県が示す標準保険税率を参考としながら被保険者の税負担と町の支援について判断していきたいと思っています。

このほかに「認知症施策の推進について」も質問しました。



国民健康保険事業費納付金・標準保険税率算定イメージ図



峠 勇男 議員

学校 営繕

抜本的な老朽化対策を

個別施設計画を策定

質問 小中学校、幼稚園を巡回視察し、営繕要望がたくさん挙げられました。施設の準備に頭を悩ますことなく教育に専念できる環境を整えるとともに、抜本的な老朽化対策も必要だと思います。教

育長の考えを伺います。

教育長 当町の学校数は幼稚園も含め現在8施設ですが、うち4施設が昭和年代建設、最も新しい施設でも建設から既に14年が経過



教育に専念できる環境を
(学校視察の様子)

しています。このように古い施設が多いことから年々老朽化が進み、次々に建設や施設の改修などに迫られている状況です。学校の営繕に係る維持管理については、安全性の確保など緊急性の高いものを中心に対応しています。屋根の塗装やボイラーの更新など多額の費用を要するものは、計画的に実施する必要があります。また、施設の長寿命化についても各施設の老朽化の実態を改めて調査し、専門家の知見を踏まえて「個別施設計画」を策定し、進めていきたいと考えています。

資格取得への支援は

自己啓発に取り組みやすい職場づくり

職員スキル

質問 十分な住民サービスを提供していくためには、職員のスキルの向上が求められます。商工業事業者などの相談対応のため、中小企業診断士のような資格取得をする際、町として支援をする考えはないか伺います。

町長 町人材育成基本方針に基づき、岩手県市町村職員研修協議会が実施する研修に、平成29年度は41人を受講させています。また、町職員互助会



職務の遂行のため自己啓発に努めています

では自学する職員に対し、費用の半額（上限1万円）を助成しています。職員は職務の円滑な遂行のため、絶えず自己啓発に努め、能力を高めていかなければなりません。今後も自己啓発に取り組みやすい職場づくりを進めていきたいと考えています。商工業者からの相談業務については、商工会の経営指導員などの専門的な団体の制度で対応していきたいと考えています。

観光拠点施設の構想は

検討委員会を立ち上げ議論

観光 振興



山 舘 章子 議員

質問 御所野遺跡の世界遺産登録に向けて、御所野遺跡周辺に、新しい観光拠点施設ができると思います。新しい観光拠点施設の構想を、現時点で答えられる範囲でお聞かせください。

町長 当町の御所野遺跡は、縄文遺跡群のひとつとして、多くの方々から協力いただきながら世界文化遺産登録に向けて活動して



御所野遺跡周辺には多くの来訪者
に対応する施設が求められます

おり、めでたく登録されたあかつきには、20〜30万人程度の来訪者が見込まれると考えています。

多くの来訪者に対応できる物販、飲食施設、宿泊施設などが必要になってくることから、今年6月に、新たな観光施設を整備するにあたり、その機能および設置箇所について検討する委員会を立ち上げ、議論することとしています。

交通 安全

町としての取り組みは

関係機関と協力して取り組む

質問 先日奥中山では人身事故が発生しました。また、小鳥谷小学校の通学路では制限速度が時速50kmという場所があります。事故が起きてからの安全施策ではなく、町の宝である子ども達、更には障がい者や高齢者のためにも、走行中の車の運転者へ注意を促すような取り組みが必要だと思いますが、町長の考えを伺います。

町長 交通安全対策として、交通指導員や交通安全協会など関係機関団体と交通安全運動を実施し、併せて交通事故が懸念される箇所には、ドライバーへ

の注意喚起を促す警戒標語や路面標識を設置するなど、交通事故予防に努めます。また、通学路における交通安全対策としては、横断歩道の設置や、カーブミラー設置などの改善

要望を取りまとめた「通学路交通安全プログラム」に取り組んでおり、今後も学校からの要望などを年度ごとに取りまとめ対応していきます。



学校では4月に交通安全教室が行われています

学びの現場を視察

～ 総務教育民生常任委員会と教育委員会による学校視察 ～



営繕要望箇所の調査（一戸中）

5月8日、9日、15日の3日間に渡り、総務教育民生常任委員会の所管事務調査として、教育委員会と合同で学校視察を行いました。視察には委員8人と委員外議員2人が参加し、市内の幼小中学校すべての施設を視察しました。

総務教育民生常任委員会では、2年に1度学校視察を行っており、学校の運営状況及び施設の営繕要望等を把握し、教育の振興に寄与することを目的としています。

学校ごとに、営繕希望箇所の確認と授業参観を行い、教育活動の様子を校長・副校長先生から伺いました。どの学校も、地域の特性や伝統文化をいかした教育活動が展開されています。



タブレットを使った授業（小鳥谷小）



図書室の御所野遺跡展示コーナー（一戸小）



授業の様子（一戸南小）

れており、子ども達が生き生きと学校生活を送っている様子を拝見することができました。

複式学級の学校もありましたが、タブレットや電子黒板を使つて、工夫した授業が展開されており、たいへん興味深く拝見しました。

また、多くの学校に司書が配置されたこと



から、図書室も整理され、子ども達が本を手に取りやすいような展示がされていました。

今後は、より良い教育環境を実現するために、町や教育委員会と協議し、一層の改善を求めています。

請願・意見書

今期定例会には請願1件が提出され、委員会審査の後、本会議で採択されました。
また、議員発議された意見書1件は可決され、関係機関に提出されました。

請願

◎日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願
（総務教育民生常任委員会）

▼審査内容
核兵器禁止条約は、核兵器のない世界を目指す、核兵器の開発、実験、製造、保有などを禁止し、さらに「使用するとの威嚇」も禁止する内容です。

日本政府は核兵器保有国と歩調を合わせ署名していませんが、核兵器の悲惨さを知る唯一の国である日本が先頭に立って署名すべきと判断し、本請願を採択しました。



◎日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める意見書

▼要望内容
1 すみやかに核兵器禁止条約に署名すること。
2 衆議院・参議院の両院ですみやかに核兵器禁止条約を批准すること。

意見書

「北海道・北東北の縄文遺跡群」

世界遺産登録推進総決起大会に参加



挨拶をする達増拓也縄文遺跡群世界遺産登録推進本部副本部長

4月23日、「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録推進総決起大会が、東京都「衆議院第1議員会館」で開催されました。

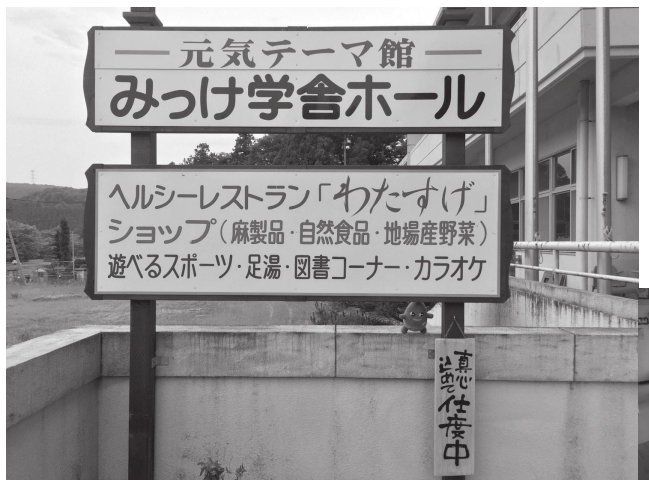
国会議員連盟所属議員、道県知事・市町長、道県市町議会議員、関係者ら約210人が参加し、当町議会からも

正・副議長ほか議員11人が参加しました。

大会では、国会議員連盟会長、各道県知事からの挨拶に続き、縄文遺跡群世界遺産登録推進本部長の三村青森県知事が合同要望書を読み上げ、閉会しました。



ボルダリングなどの設備が整備されています（旧川内小）



旧本砂金小はレストランなどに活用されていました



道の駅平泉 内部の様子

とを条件とし、審査には地域住民も参加するなど地域との連携を大切にしています。

6事業者が審査に参加し、4校それぞれ、室内スポーツ施設、レストラン、産直施設、アウトドア体験施設などとして活用されていました。

点としての取り組みについて視察するのが目的でした。

道の駅平泉は、国と町で整備を進め、民間の株式会社「浄土の郷平泉」が指定管理者として管理運営する公設民営方式の道の駅です。全体の敷地面積は1万6000平方メートルで、トイレや休憩所、レストラン、物産館などが整備されています。



町の総合的な情報発信拠点としてだけではなく、災害時には交通利便性をいかして地域の防災拠点として、また地域振興施設としても機能しており、たいへん参考になりました。



道の駅平泉～黄金花咲く理想郷～

議長交際費

議長などが議会を代表し対外的な行事などへ出席する際の経費です。4月～6月の執行状況をお知らせします。

◎ 平成30年4月～6月執行状況

区分	4月	5月	6月
祝金	2件 10,000円	11件 55,000円	6件 55,000円
会費	1件 5,000円	1件 3,000円	2件 6,000円
見舞金	—	—	—
弔慰金	—	—	—
接遇	—	1件 20,500円	4件 11,650円

※ 交際費の主な分類

祝金	慶事、式典、祝賀会、各種懇親会等の祝金など
会費	慶事、各種懇談会等の会費
見舞金	病気、入院等の見舞金
弔慰金	香典など
接遇	視察来訪等の賄い、視察先へのお土産など

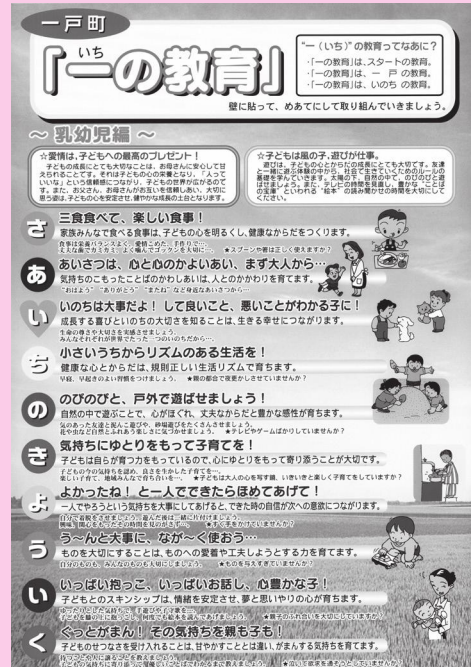
徳永教育委員の感想



徳永映子教育委員

一戸で子育てをされてきた皆さまにはおなじみの「一の教育」。人の命を軽視した悲しい事件が報道されることの多い昨今、あらためて読み返す「一の教育」は揺るぎない優しさで強さをもって心に響いてきます。

平成30年5月8日、9日、15日の3日間をかけて町内の小学校を視察してきました。どの学校でも、先生方や保護者はもちろん、地域の方々までもが、地域発展の要所として小学校をとらえ、そこに通う子ども達の健やかな成長を願っていることが伝わってきました。



どの学校も子ども達のはのびのびとして、はつらつとして見えましたが、しかし一つとして同じ学校はなく、どの学校もそれぞれの個性があつて、それがとても印象的でした。子ども達は普段、自分の通う学校しか足を踏み入れることはないと思いますが、もし他校の授業風景をのぞかせたらどんなふうに感じるでしょうか。

それぞれの個性を感じる一方で、共通して感じることもありまし

た。子ども達の学力向上のため努力する先生方の姿もそうですが、何よりも「思いやりの心」を大切に行っていること。この「一の教育」の精神がしっかりと根付いていることを感じました。

町外から一戸へ来て10年になりますが「一の教育」は間違いなく一戸の魅力のひとつです。この精神が褪せることなく、延々と受け継がれていくことを切に願っています。

産業建設常任委員会所管事務調査

地域との連携による廃校舎活用を調査

宮城県川崎町では、平成24年3月に川内小、本砂金小、支倉小、前川小青根分校の4校が同時に閉校したことから、地域との連携による廃校舎の有効活用



閉校後、室内スポーツ施設として活用されている旧川内小

5月30日～31日の2日間に渡り、産業建設常任委員会の所管事務調査を行いました。調査には委員4人と、担当課職員が参加し、宮城県川崎町の廃校舎の有効活用への取り組みと、平泉町の道の駅を視察しました。

に取り組みこととなりました。

運営は町営ではなく、民間事業者を公募し、どのような活用を行うかは自由で、独立採算により運営するこ